

明倫短期大学 歯科衛生士学科 卒業後3年次動向調査 結果報告 (2024年度実施:抜粋版)

1.調査の概要

【調査目的】

卒業後3年経過した現在の勤務状況、及び社会人としての立場で在学時の教育課程等を振り返り、大学教育の成果がどのように役立っていたかを知るために意見を求める必要がある。この調査を元に改善の方向性を検討する上で、客観的な評価指標の一つとして用いられることが期待される。

【調査対象】

2020年度卒業生 歯科衛生士学科40名

【調査方法】

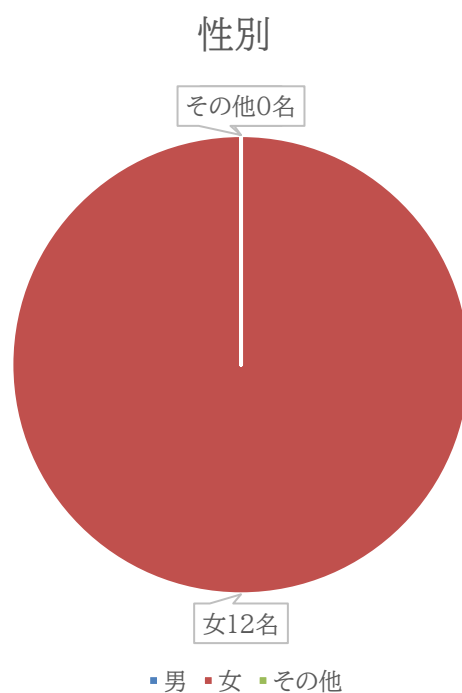
アンケートの調査依頼を郵送やSNSで配信をし、オンライン入力フォームで回答をお願いした。

【実施時期】

2024年8月8日～8月31日

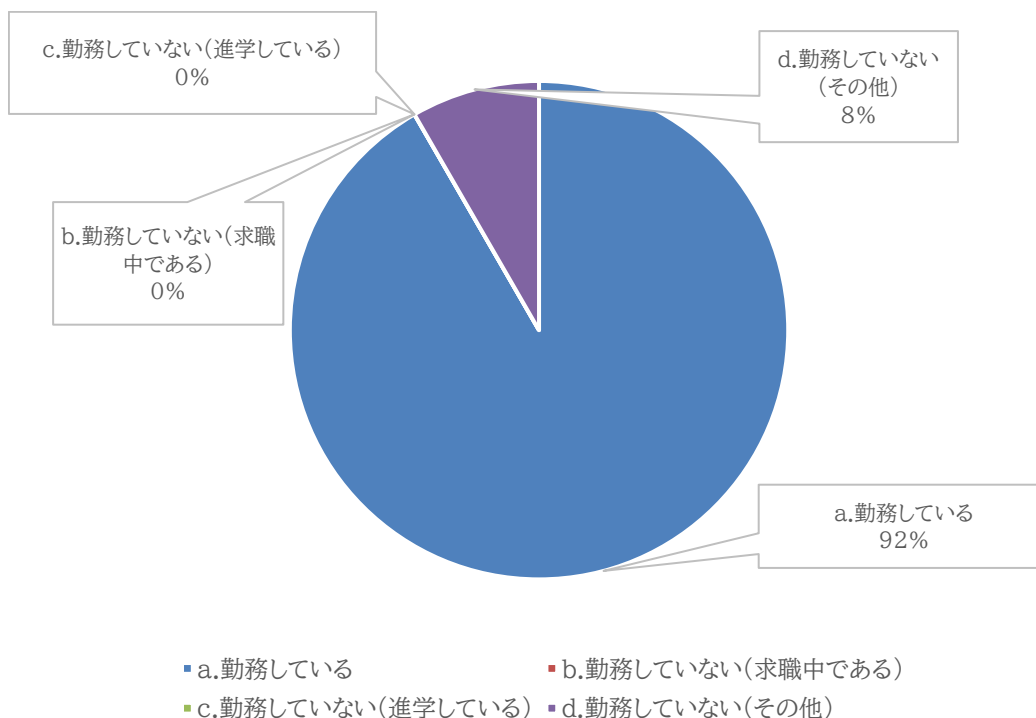
【回答者】

12名(回答率 30%)

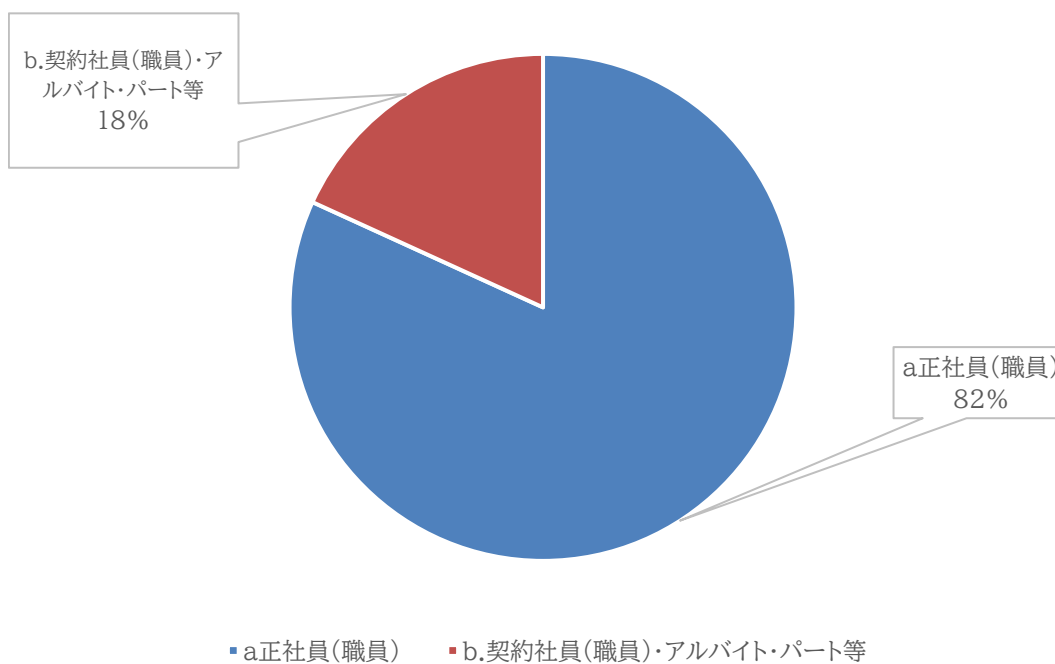


2.調査結果の要約

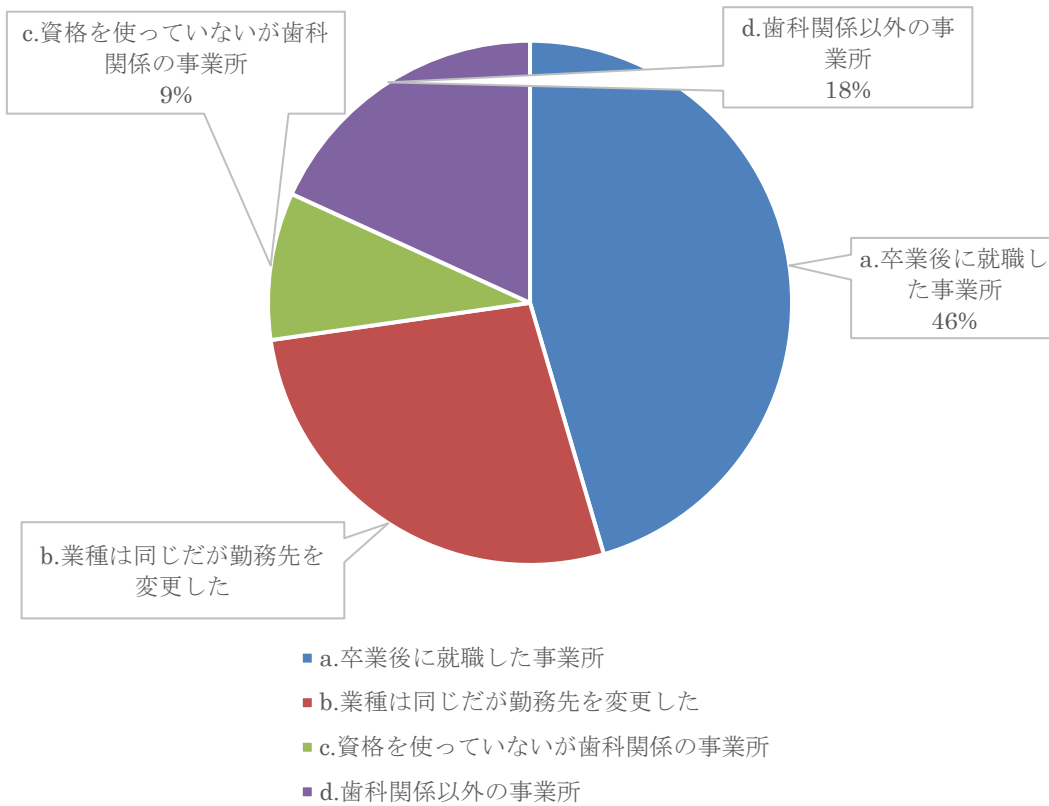
【現在の勤務状況】(n=12)



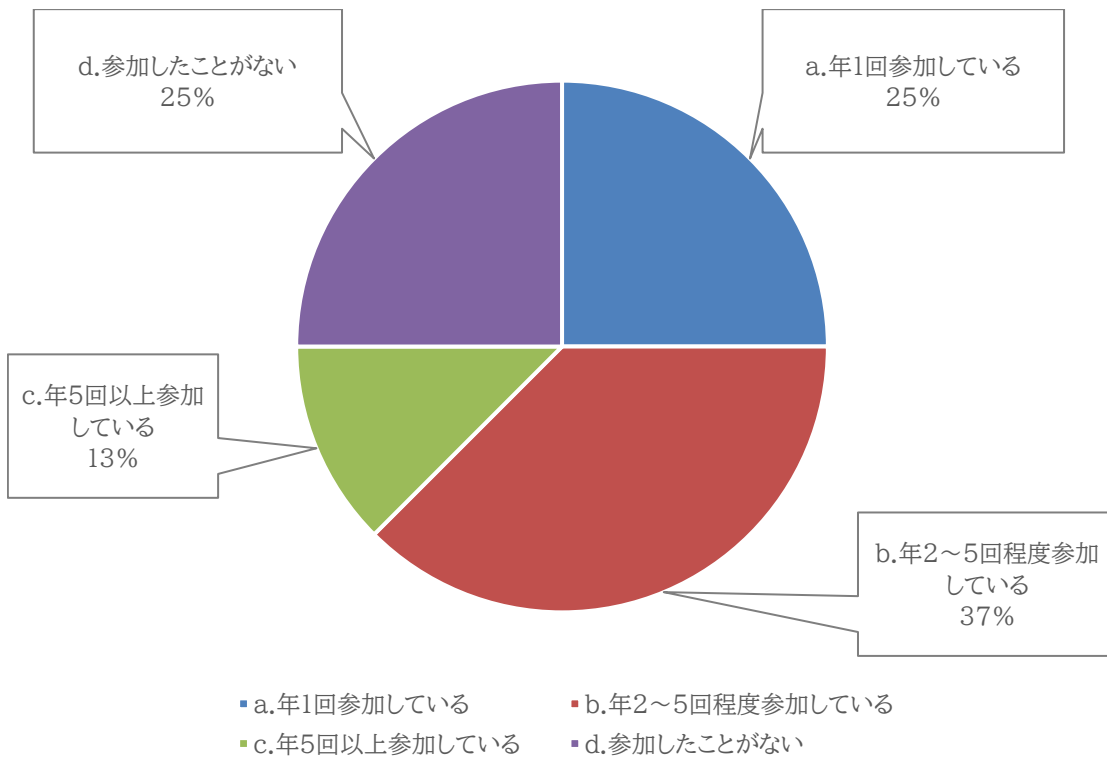
【現在の雇用形態】(n=11)



【勤務先の変更状況】(n=11)



【研修会等の参加状況】(n=8)



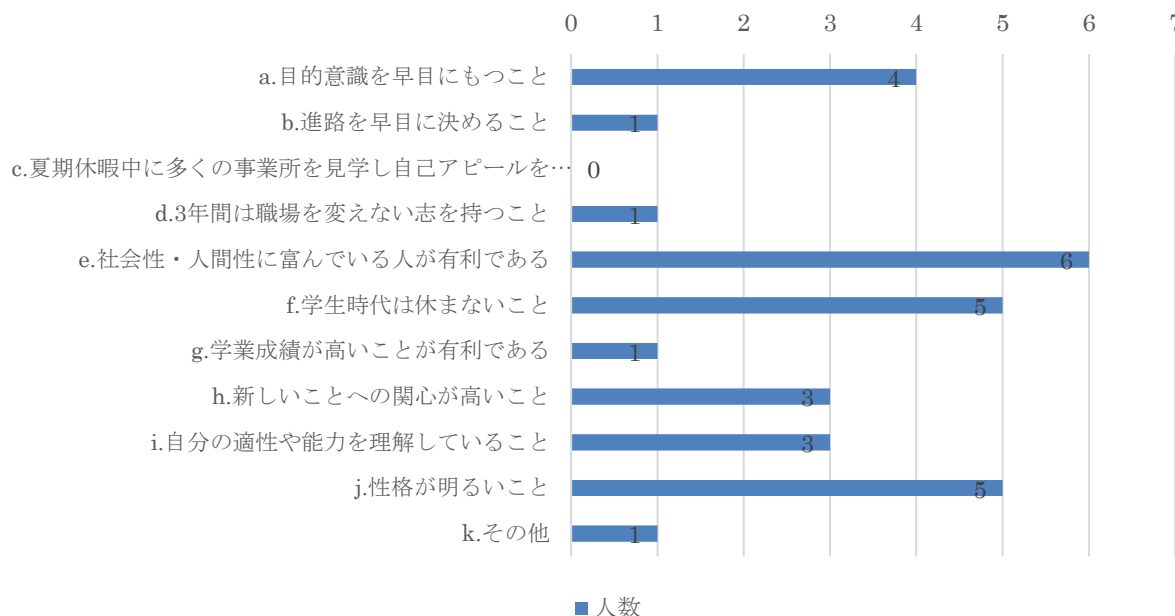
【高校生に明倫短期大学の進学を勧めたい理由】

- ・先生がとっても親身になってくれるので、勉強や進路に悩んでいても相談しやすいです！
- ・実習先がたくさんあるから。
- ・就職してみて明倫短期大学は他の衛生士学校に比べ歯科口腔介護についての知識があると感じました。実習でも施設や居宅への往診に連れて行ってもらえ、今凄く役立っています。また、うちの医院は新潟県内某衛生士学校の実習生を受け入れています。明倫の先生は実習態度や挨拶など一から教えてくれたり、引き継ぎの時間がしっかりあったりと手厚くサポートしてくれて有難かったなと思う場面がいくつかあります。
- ・実習先も多く、同級生も真面目に取り組む人が多かったため。実習先・学校で出会った人たちや勉強したことが、自分のためになったと感じることが多かったため。
- ・学生の人数が多くな、先生のご指導が1人1人に対して手厚いため。
- ・厳しいところはあるがその分鍛えられる。現場に出た時の適応能力は磨かれると思う。

【明倫短期大学における教育課程での学びにおいて、改善が必要なこと】

- ・地元(山形)の歯医者で何回か出身校を聞かれることがありましたが、明倫を知らない先生やスタッフの方も多かったです。逆に、近隣の県である新潟の歯科衛生士学校から雇いたいと頑張っている医院も何か所か見かけました。(私も2年ほど前に勤めていた医院で、求人の中で明倫に電話にて相談させていただいています。)新潟に明倫という歯科衛生士の学校があることを私の地元の人にももう少し知ってもらえればいいと思います。
- ・歯科衛生士の仕事の楽しさを感じられるようなことを学生時代に経験できる環境があると嬉しい。

【明倫短期大学の後輩へ伝えたいこと】(複数回答項目)



3.調査の概評

回答者のうち約 73%が現在も歯科衛生士として勤務しており、その内約 46%が卒業時と同じ就業場所にて勤務していた。また、最初の就職先を離職した理由も結婚や通勤時間など、やむを得ない理由でありネガティブな要因での離職は見当たらなかった。歯科衛生士以外の職種でも海外で歯科助手として勤務している特異なケースもあった。

卒業生から学生時代の豊富な歯科介護現場での臨地臨床実習を経験したお蔭で、訪問診療の現場で大変役に立っているという意見があった。「歯科介護」は本学開学時より力を入れてきた分野で嬉しさを感じるとともに、改めて「歯科介護」領域の臨地臨床実習の重要性を感じた。

以上